

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
21107	韓国語 Korean Language	木村 淑		専門	1	選択	1.2年前期
科目の概要							
韓国語の文字（ハングル）及び、基礎文法を学修する事によって、自己紹介と簡単な日常会話ができるようにするのを目標にする。韓国語を修得する際に難しく思いがちな発音や単語を日本語と比較しながら勉強する事で、両国の言葉の類似点、相違点を気づかせ韓国語の理解力を高める。「読む、書く、聞く、話す」ことをバランス良く入れ、コミュニケーション能力を高め、韓国の生きた文化や生活習慣に触れ、韓国語の理解を深めることを目指す。							
学修内容				到達目標			
① ハングルの母音を習得する ② ハングルの子音を習得する ③ 母音と子音、終声子音(パッチム)の組み合わせを習得する ④ 韓国語で自己紹介ができるようにする。 ⑤ 韓国語で簡単な文章の作成と基礎的な会話を身につける。				① ハングルの母音を理解することができる。 ② ハングルの子音を理解することができる。 ③ ハングルで単語を表記することができる。 ④ 韓国語で自己紹介することができる。 ⑤ 韓国語で文章の作成と簡単な会話ができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	授業で取り組む文法や発音に気を付けながら、自ら積極的に取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	正確な発音を身につけるため、舌や唇の動きを認識しながら、継続的な練習を繰り返し行うことができる。					
考え抜く力	課題発見力	韓国語と日本語の違いに気づき、自らから気を付ける点を認識し、自分で課題を見つけることができる。					
	計画力						
	創造力	日本語との語順の類似性を生かして、自ら韓国語で文章を考えることができる。					
チームで働く力	発信力	自己紹介や韓国語で文章をまとめて、他者に発表することができる。					
	傾聴力	他者の発表やグループワークの中で他者の意見をしっかりと傾聴して、コミュニケーションを楽しむことができる。					
	柔軟性	ハングルの学習を通じて、隣国の異なる文化や思想を持つ人々の気持ちを理解することができる。					
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：「ひかりとジフのどきどき韓国語」都恩珍監修／李正子・金昭鎭著 朝日出版社							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：なし 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
日本語と語順が類似しているので、各単元の単語をしっかりと暗記することで、韓国語が話せるようになります。話せるようになるとさらに韓国語に興味を持って、楽しく学べることが出来ます。				<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、携帯電話は電源を切り、カバンに入れておくこと。 ・出された課題は積極的に取り組む。 ・グループワークに積極的に参加すること。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介を筆記と口頭発表にする。 文法と文字を正しく書けるかを評価する。 暗記して発表出来るかを評価する。 正しい発音で発表出来るかを評価する。 流通に発表出来るかを評価する。 	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト		20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 小テストは、前回の授業内容が理解出来ているかを単語を中心にを行う。 出題範囲は前回の授業で学習した内容とする。 小テストの点数は平均して判定する。
					②	✓	
					③	✓	
					④		
					⑤	✓	
		レポート		20	①	✓	課題①テキストの各単元に出る単語を3回ずつ書いて提出する 課題②テキストの各単元の練習問題を解いて提出する。 課題①、②を毎週提出する。 指示通りにやれてない人は再提出になります。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		10	①	✓	テキストに出る日常会話に使う簡単な挨拶をペアで発表する。（5点） 以下の点を評価する。 ①暗記して発表すること。 ②明瞭な発音で発表すること。 グループワークで「韓国語のアイドルの歌」を発表する。好きなアイドルが同じ人でグループをつくり歌詞を韓国語で発表する。（5点） 以下の点を評価する。 ・韓国語の歌詞を日本語で訳すること。 ・韓国語の歌詞を正しい発音で発表すること。（歌か、朗読かはグループで決める） ・歌詞の中で5個の単語と覚えたいフレーズを一つ暗記して言えること。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	20	①	✓	(主体性) ・語学力を身につけるために、自ら予習、復習をすることができる。 (実行力) ・授業で学習したことを日常的な場面で意欲的に取り入れる。 (課題発見力) ・様々の場面で使える表現を意識し、意欲的に取り組むことができる。 (創造力) ・課題に対して、学修した文法や単語を応用して、表現することができる。 (発信力) ・聞き手に分かりやすく、自らから考え工夫して発表する。 (傾聴力) ・話し手の話を聞き、しっかり聞くことができる。 (規律性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)試験、小テストが90%であり、授業中の態度、レポートの提出、グループワーク活動が優れている。 A(優)試験、小テストが89%~80%であり、授業中の態度、レポートの提出、グループワーク活動に積極的に参加できる。	B(良)試験、小テストが79~70%であり、授業中の態度、レポートの提出、グループワーク活動に意欲的に参加できる。 C(可)試験、小テストが69~60%であり、ハンゲルの文字表を見ずに、文字が読める。発表の際に、明瞭な発音で発表することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 文字編 第1課 ・1, 母音五つ (ㅏ, ㅣ, ㅓ, ㅕ, ㅗ) 2, 子音四つ (ㅇ, ㄴ, ㄹ, ㄹ) を学ぶ。 ・初めて会う人と挨拶が出来るようになることを目的とする。 ・質疑応答にてフィードバックする。	講義 演習 発音練習	・ハンガルの仕組みを理解することができる。 ・授業で学習した母音と子音を読むことができる。 ・初めて会う人と挨拶することができる。	(復習)・母音と子音の読み書きを練習する。、単語を書けるようにする。 ・挨拶が出来るように繰り返し音読する。 (予習)・第2課の基本母音と子音三つを読んでおく。 ・「私は学生です」を音読する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
2	文字編 第2課 ・1, 基本母音 2, 基本母音と子音三つの組み合わせを学ぶ。 ・「私は大学生です」を韓国語で言えるようになることを目的とする。 ・質疑応答にてフィードバックする。	講義 演習 発音練習 小テスト	・授業で学習した母音と子音の読むことができる。 ・「私は大学生です」を韓国語で言うことができる。	(復習)・母音と子音の読み書きを練習して、単語を書けるようにする。 ・自己紹介の表現の一つである「私は大学生です」のフレーズを繰り返し音読する。 (予習)第3課の子音の五つを読んでおく。 ・「ありがとう」「さよなら」を音読する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
3	文字編 第3課 ・1, 子音五つを学ぶ。 ・「ありがとう」と「さようなら」の挨拶を言えるようになることを目的とする。 ・質疑応答にてフィードバックする。	講義 演習 発音練習 小テスト	・授業で学習した子音が読むことができる。 ・「ありがとう」「さよなら」を韓国語で言うことができる。	(復習)母音と子音の読み書きを練習して、単語を書けるようにする。 「ありがとう、さようなら」を韓国語で言えるように繰り返し音読する。 (予習)第4課の合成母音Ⅰ、パッチムⅠ、連音化Ⅰを読んでおく。 ・「どこですか」を音読する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	文字編 4課 ・1, 合成母音Ⅰ 2, パッチムⅠ 3, 連音化Ⅰを学ぶ。 ・「どこですか」という疑問文が言えるようになることを目的とする。 ・質疑応答にてフィードバックする。	講義 演習 発音練習 小テスト	・授業で学習した合成母音Ⅰ、パッチムⅠを読むことができる。 ・「どこですか」を韓国語で言うことができる。	(復習)合成母音、パッチムを復習し、単語の読み書きが出来るようにする。 「どこですか?」の疑問詞を使った質問が出来るよう、繰り返し音読する。 (予習)第5課の激音、合成母音Ⅱ、日本語のハンガルの表記を読んでおく。 (予習)・第5課の激音、合成母音、日本語のハンガル表記を読んでおく。 ・お店で注文する時の表現を音読する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	文字編 第5課 ・1, 激音 2, 合成母音Ⅱ 3, 日本語のハンガル表記を学ぶ。 ・お店で注文する時の表現が言えるようになることを目的とする。 ・質疑応答にてフィードバックする。	講義 発音練習 小テスト アイドルの歌の歌詞を発表するためのグループを決める。	・激音、合成母音を読むことができる。 ・日本語をハンガルで表記することができる。 ・お店での簡単な注文を韓国語で言うことができる。	(復習) 激音、合成母音の読み書きを練習して、単語が読めるように復習する。 日本語のハンガル表記を復習して、自分の名前を韓国語で書けるようにする。 お店での注文で使うフレーズを繰り返し音読する。 (予習)第6課のパッチムⅡ、連音化Ⅱ、合成母音Ⅲ、激音化を読んでおく。 「お誕生日おめでとうございます」を音読する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	文字編 第6課 ・1, パッチムⅡ 2, 連音化Ⅱ 3, 合成母音Ⅲ 4, 激音化を学ぶ。 ・「お誕生日おめでとうございます。」を韓国語で言えるようになることを目的とする。 ・質疑応答にてフィードバックする。	講義 発音練習 小テスト	パッチム、合成母音を読むことができる。 連音化と激音化を学ぶことでパッチムのある単語を正しく発音することができる。 「お誕生日おめでとうございます。」のフレーズを韓国語で言うことができる。	(復習)パッチムと合成母音の読み書きを繰り返し練習して、単語を読めるように復習する。 「お誕生日おめでとうございます」のフレーズを繰り返し音読する。 (予習)第7課の濃音を読んでおく。 ・「どこですか」の質問に対する答えを音読する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7	文字編 第7課 ・1, 濃音を学ぶ。 ・「どうですか?」の質問に対する答えが言えるようになることを目的とする。 ・質疑応答にてフィードバックする。	講義 演習 発音練習 小テスト	濃音を読むことが出来る。 「どうですか?」に対する答えが出来る。	(復習)・濃音を復習し、単語の読み書きが出来るように復習する。 ・「どうですか?」に対する答えを繰り返し音読する。 (予習) パッチムⅢ、濃音化)、漢数詞を読んでおく。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	文字編 第8課 ・1, パッチムⅢ 2, 濃音化 3, 漢数詞を学ぶ。 ・「2人前をください」という漢数詞を使った簡単な会話が言えるようになることを目的とする。 ・質疑応答にてフィードバックする。	講義 演習 発音練習 小テスト	パッチムの読み方が理解し単語を読むことができる。 漢数詞を数えることができる。	(復習)・パッチム単語を読めるように復習する。 ・漢数詞を数えるように覚える。 (予習)・簡単な挨拶を音読する。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	文字編の総復習 今まで習った簡単な挨拶を総復習する。 ・質疑応答にてフィードバックする。	講義 演習 発音練習 小テスト(漢数詞を数えるか口頭でテストする。)	平音、激音、濃音の聞き分けと発音を区別することができる。 簡単な挨拶を韓国で言うことができる。	(復習)簡単な挨拶と会話を繰り返し音読する。 アイドルの歌の歌詞を正しく読めるように発表の準備をしておく。 (予習)文字編 1課の単語を覚える。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	文法編 第1課 私の名前は天野ひかりです。 好きなアイドルの曲を韓国語で発表する。 ・質疑応答にてフィードバックする。	講義 演習 小テスト(1課の単語) 発表	自己紹介で自分の趣味を言うことができる。 歌詞を正しく発音することができる。	(復習)「名詞+は+です」という表現を組み合わせて言うように復習する。 (予習)文法編 2課の単語を覚えておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	文法編 第2課 これはすき焼きですか? ①「~ですか」 ②「~ではありません」 ③「~も」を学ぶ。 ・質疑応答にてフィードバックする。 名詞の疑問詞を使って質問したり、質問に対する返事ができるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト	名詞の疑問詞を使って質問したり、相手の質問に対して否定文で返事することができる。	(復習)授業で学習した名詞の疑問詞、否定文の表現を言うように復習しておく。 (予習)3課の単語を覚えておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
12	文法編 第3課 ここは昌徳宮です。 ①「~が」 ②「~は何ですか?」 ③「~と」を学ぶ。 ・質疑応答にてフィードバックする。 「何ですか?」に対する、答えができるようになることを目的とする。	講義 演習 小テスト	「~は何ですか?」の文章を使った質問と質問に対する返事することができる。	(復習)授業で学習した「~はなんですか?」の表現に対する答えが言えるように復習する。 (予習)第4課の単語を覚える。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
13	文法編 第4課 週末に何をしますか? ペアーで簡単な挨拶を発表する。 ①합니다体I「~です・ます」 ②「~に、へ」 ・質疑応答にてフィードバックする。 ③「~を」を学ぶ。	講義 演習 小テスト 発表	週末に何をするかに対する答えを言うことができる。	(復習)ですの합니다体の表現を覚えて、質問に対して、합니다体で答えるように復習する。 (予習)第5課の単語を覚えておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	第5課 どこに行きたいですか? ①합니다体II ②「~たい」 ③「~で」を学ぶ。 ・質疑応答にてフィードバックする。	講義 演習 小テスト	自分のしたいことを言うことができる。	(復習)授業で学習した~したいの表現を覚えて、言えるように音読する。 (予習)6課の単語を覚えておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
15	第6課 はじめまして ①「(今から)~する」 ②「~のために」 ③「~だが」を学ぶ。 ・質疑応答にてフィードバックする。 自己紹介の発音練習	講義 グループワークで自己紹介の練習をする。 小テスト	自己紹介ができる。	(復習)発表の準備	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力